

ごあいさつ

代表世話役 西本 孝

新型コロナウイルスの感染拡大防止により、私たちの生活は多大な影響を受け、皆さんの周辺でも、普段とは違う日常への対応を強いられる日々が続いていると思います。その中で、感染防止対策への対応にも慣れて、社会生活も正常化に向けて、様々な形で動き出しており、私たちの関係する野外活動も、対策を立てて、継続していくことの大切さを示す時がきています。

さて、2020年度の年次総会は、皆さまの協力により、何とか実施できましたが、中国地方5県の交流会が来年に延期となるなど、まだまだ影響が続いています。このような中で、新しい動きがありました。岡山市子どもセンターが運営するプレーパーク（岡山市こどもの森）で、子どもセンターが主催するどんぐり観察会に当会が共催するという形で、自然観察会を実施することができました。年間行事には予定されていませんでしたが、会員の福元さんの尽力で開催に至りました（詳細は後述）。対策をとった上で実施する身近な活動は欠かせないことが実証され、子どもたちが楽しく遊ぶ姿を見て、有意義な時間を過ごす場を提供することが、私たちに課せられた大切な使命だと実感しました。

今後は、年が明けて、新年会や新見市の石灰岩地での自然観察会などを予定しております。これからも会員の皆様と一緒に、自然観察を通じて自然の不思議さを実感しながら充実した楽しい時間を持ちたいと思っています。皆さまの参加をお待ちしております。

第16回自然観察会の報告（年間予定になかった観察会）

- 開催日：2020年11月1日（日）
- 場所：岡山市こどもの森
- 日程：10時～12時
- 内容：NPO法人岡山市子どもセンター主催（協力NOI岡山）で、どんぐりをつける木を観察し、
- プレーパークの担当者が指導して、どんぐりを使って、様々な工作をして遊んだ。
- 案内：西本・福元・藤本（どんぐりを付ける樹木の紹介）
- 詳細は、福元さんからの報告を参照。

新年会のお知らせ（会場の変更、参加希望者は、西本まで）

- 開催日：2021年1月30日（土）
- 場所：e-Tam 自然と教育研究所（西本の事務所）
岡山市北区玉柏 1939-3
- 時間：午後1時～（順次参加OK）
- 会費：2,000円（飲み物は各自が持参）
- 備考：飲食店での3密を避け、流動的な対応が可能な、西本の事務所で開催します。好みの飲み物を持参してください。

第17回自然観察会のお知らせ（担当は大森隆志、参加希望者は西本まで）

- 開催日時：2021年3月14日（日）
10時～14時（雨天決行）
- 岡山県の生物多様性のホットスポットを訪ねて（No.2）草間台の春植物—その1
- 参加者は西本まで（詳細をお知らせします）。
- 集合 午前10時 湯川診療所（新見市土橋）
- 内容：ユキワリイチゲ、セツブンソウ、アズマイチゲなど春先に開花する石灰岩地特有の希少な植物を観察します。
- 持ち物 昼食、飲み物、筆記用具、雨具

第18回自然観察会のお知らせ（詳細は後日お知らせします）

- 開催日：2021年4月29日（木・祝日）
- 毛無山（新庄村）での自然観察会

年次総会と第19回自然観察会のお知らせ（詳細は後日お知らせします）

- 開催日：2021年6月13日（日）
- 会場：総会は、e-Tam 自然と教育研究所（10時～12時）、自然観察会は、岡山市こどもの森（14時～15時）
- テーマ：新緑の森の生きもの
- 自然観察会：都市の緑地帯で、一般公募した親子と一緒に園内を散策して、新緑の頃の森の生きものを探します。

11月1日（日）快晴 北区学南町「こどもの森」10時～12時、おかやまプレーパーク（主催：NPO 法人岡山市子どもセンター）の行事として、協力 NOI 岡山中、どんぐり観察会を行いました。

参加者は、日頃プレーパークで遊んでいる親子、祖父母孫、40名程度と、おかやまプレーパークのプレーリーダー、ボランティア、子どもセンターの役員の方10名、NOI 岡山より、西本代表、藤本、福元自然観察指導員3名でした。

こどもの森での自然観察会は、昨年未より20年度のプレーパークの行事とし、年数回行くと、当会の橋本事務局長にも加わってもらい、話を進めてきました。しかし、コロナ禍のため、3月よりプレーパークが休止となり、すべてが止まってしまいました。9月中旬よりプレーパークが再開し、急きょ組み入れ、季節に合わせて「どんぐり」をテーマにしました。

10月24日には、NOI 岡山の会員による下見を行い、開催当日に所用で参加できない会員（山根、永富）と藤本、福元が園内を散策し、進め方について検討しました。

自然観察会は、晴天にも恵まれ、西本代表のどんぐりやどんぐりをつける木の特徴について話を聞き、どんぐり拾いをしながら、1時間程度、園内を回りました。園児、小学低学年が中心の子どもは、どんぐり拾いに夢中、20～30代の親は、熱心にどんぐりの話を興味深く聞いていました。どんぐりを通して、森の自然や移り変わる季節をそれぞれに感じてもらえたと思います。

公園には、11種、100本以上のどんぐりをつける木があります。アラカシ、ウバメガシ、コナラ、マテバシイ（写真2）、クヌギ、アベマキ、スタジイ、クリは、どんぐりをつけていました。ただ、アベマキ、クヌギ、クリは、拾えるどんぐりはなく、数10本あるシラカシには、どんぐりがほとんどついておらず、ウラジロガシやイチガシもありますが、いずれもどんぐりはついていませんでした。

観察会の後1時間ほど、プレーパークの担当者の指導で、錐、修正ペンやマジックを使って、どんぐりコマ作り、どんぐりへの顔画き、どんぐりコロコロを親子で愉しんでいました（写真3～5）。

初めての試みとしては、自然観察会・野外活動を通し、自然に触れ、自然を感じると言う目的は達成できたと思います。運営面での反省点はありますが、プレーパーク関係者の方々も、「森の自然観察会」として、今後も続けたいとのことでした。

今後の展開として、冬（2月）－冬の森の木々、春（4月）－芽吹き（花）の森、初夏（5月）－新緑の木々、夏（7月）－森の動物や昆虫、秋（10～11月）－どんぐり

以上を提案し、早めに日程をおさえて、NOI 岡山の会員も多くの方が参加・協力できるようにしたいと考えています。



写真1. 10月に下見をしたときの園内の様子。



写真2. マテバシイのどんぐり。多数の雌花の内、数個だけ実る。



写真3. 修正液で描いた動物の顔。



写真4. どんぐりで真剣に遊ぶ子どもたち。



写真5. どんぐりで、様々な模様を描いて遊ぶ親子。